

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	① マーケティングに基づくプロモーションの展開	
			施策の小項目名	○マーケティング調査、情報分析力の強化	
主な取組	沖縄MICE開催実態調査事業			実施計画記載頁	191
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
県内におけるMICE開催の実態を把握するため、主要MICE施設、ホテル、旅行会社を対象に開催状況調査を実施する。						
実施主体		実態調査の実施				
県、OCVB						
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課					
	【098-866-2077】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	—	2,974	4,000	一括交付金(ソフト)	○H29年度: H28年度に調査した施設や企業・団体478団体に対して調査を行い、うち366団体から回答があった。 ○H30年度: H29年度に調査した施設に加えて新設されたホテルや会議施設があれば対象に追加して調査を行う。
予算事業名	—						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	実態調査の実施				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	実施	—	100.0%	2,974	順調	「沖縄MICE振興戦略」に基づく具体的施策の効果を検証し、今後のMICE施策推進の方向性や誘致や受入の取組を進める際の基礎資料とするため、県内におけるMICE開催実態調査を実施した。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠と取組の効果
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・MICEのうち、特にM/I/Eについては、実態の把握が難しく、本県のように定期的に調査を実施している地域は他にない。

○外部環境の変化

・本調査は、ホテルや会議施設、旅行社等からの回答をとりまとめているが、回答者から顧客情報管理上回答が難しい、件数が多く調査票への入力の業務負担が大きい、参加国数や参加者の内訳等を把握しておらず回答が難しいといった声がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・調査対象となる施設・企業は今後も増大すると見込まれることから、調査手法の簡素化等により事業者負担を軽減する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用して、県が実施する調査事業への理解を深める。

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE関係団体、MICE専門商談会における情報収集				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	実施	—	100.0%	28,336	順調	国内・海外主要都市において商談会・セミナー等を主催又は出展し、沖縄MICEのプロモーション及び各市場の主催者ニーズの把握を行った。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										国内・海外主要都市での商談会・セミナー等を主催又は出展時に収集した情報を、次年度のプロモーション計画の検討や支援メニューの見直しを生かしており、情報収集の成果は一定程度あることから「順調」である。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

・国内外のMICE都市間の誘致競争は年々厳しさを増している。他の都市との差別化を図りつつ、主催者ニーズに沿った誘致やプロモーションを展開していく必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・アジア市場については、市場に応じてMICE主催者のニーズが異なり、最新の市場動向を把握し、より効果的なプロモーションを展開していく必要がある。
- ・欧米については、まずは沖縄の認知度向上が必要であり、他都市や一般観光のプロモーションとの連携が必要。
- ・県外、海外のMICE主催者、旅行会社、PCO/PEOなどMICE開催の中心となる企業、団体とのネットワークを強化し、各種情報の収集に取り組む必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・海外においては、県及びOCVB海外事務所の誘致活動体制の強化を行い、最新の市場動向の把握及び効果的な誘致活動につなげる。
特に欧米については、東京都やOCVB海外プロモーション担当部署との連携を検討する。
- ・県外においては、県外(東京・大阪)事務所におけるMICE主催者への個別訪問を強化し、より正確な主催者ニーズの把握を行い、支援メニュー等に反映させ、他都市との差別化を図る。

様式1(主な取組)

活動指標名	ブランド策定				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		—	—	—	—	策定	—	100.0%	79,446	順調
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・ブランドを定着させるためには、沖縄県だけでなく、OCVB、沖縄のMICE振興の中核機関である産学官の連携組織「沖縄MICEネットワーク」、県内MICE産業企業等MICEに携わる全ての関係者がブランドを理解し、発信し続ける必要があるが、ブランド発信者となる県内事業者向けの普及が十分でない。

○外部環境の変化

・今年3月に制作したものであり、県内MICE関係者向けにまだ定着していない。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・MICE開催地としての沖縄を印象づけるためには、単発でなく、継続的なブランド広報が必要である。
- ・県内のMICE事業者ひとりひとりが受入体制やサービスの質等、MICE開催地として沖縄が提供する価値(=ブランドイメージ)を意識し、ブランド発信者となる必要がある。
- ・国際的なMICE都市としてのブランド確立を図るためには、海外向けのブランド広報が必要である。

4 取組の改善案(Action)

- ・ブランド発信者の育成のため、県内MICE事業者向けに沖縄MICEブランドの普及啓発を行う。
- ・県外、海外においてブランド広報を行い、ブランドイメージの浸透に努める。

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動、商談会等への参加、キーパーソン招聘				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値	—	—	—	—	実施	—	100.0%	77,902	順調	活動概要 企業ミーティング及びインセンティブ旅行を専門に取り扱う商談会3件に出展し、37件の商談を行った。他、国内3カ所86社、海外2カ所41社に対してMICEセミナーを行った。
活動指標名	—				H29年度					
実績値										進捗状況の判定根拠と取組の効果 企業ミーティング及びインセンティブ旅行を専門に取り扱う商談会3件に出展、国内3カ所、海外2カ所で主催企業向けのセミナーを実施しており「順調」である。
活動指標名	—				H29年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

- ・平成29年7月に沖縄MICE振興戦略を策定し、誘致する主催企業の業種の絞りこみを行った。
- ・海外事務所との誘致に関する連携体制が十分でない。

○外部環境の変化

- ・金融庁の通達により、国内保険会社の海外インセンティブ旅行の自粛の動きがある。
- ・これまで全国的に国際会議の誘致が中心だったが、観光庁を始め、各都市もミーティングやインセンティブに注目しつつある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・国内向けには、沖縄県内のホテル事業者や旅行会社が積極的に誘致に取り組んでおり、県・OCVB・民間事業者との役割分担の必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・企業ミーティングやインセンティブ旅行は、ホテルや旅行会社等民間事業者による誘致活動が活発であることから、県としては、民間だけでは誘致が進まないが、経済効果の高い中～大型案件や海外案件を中心に誘致活動を展開する。
- ・海外については、県又はOCVB海外事務所と連携し、認知度の向上のため、現地旅行社との共催セミナーなどの取組を行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	① マーケティングに基づくプロモーションの展開		
			施策の小項目名	○誘致・プロモーションの展開		
主な取組	コンベンションの誘致			実施計画記載頁	191	
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。					

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
大型MICE施設の供用開始を見据え、県内大学等と連携し、大規模学会や国際会議の誘致・開催支援を行う。						
実施主体		主催者等への誘致活動、商談会等への参加、大学による誘致活動支援				
県、OCVB、大学						
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	—	29,465	15,278	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 大学などローカルホストへのサポート、学会FAMツアー、コンベンション専門商談会への出展などを実施した。 ○H30年度: 大学などローカルホストへのサポート、学会FAMツアー、コンベンション専門商談会への出展などを実施する。
予算事業名	—						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動、商談会等への参加、大学による誘致活動支援				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	実施	—	100.0%	29,465	順調	活動概要 県内外大学の学会主催者への訪問活動や学会主催者等のFAMツアー(県内視察)の実施、コンベンションを専門に取り扱う商談会4件へ出展し、延べ40件の商談を行った。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠と取組の効果 県内外大学の学会主催者への訪問活動や学会主催者等のFAMツアー(県内視察)の実施、コンベンションを専門に取り扱う商談会4件へ出展し、延べ40件の商談を行っており、「順調」である。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・学会主催者へのアプローチ手法に関するノウハウ、体制が十分でない。

○外部環境の変化

・地方都市でのMICE施設の建設が相次いでおり、国内外問わず都市間の誘致競争は年々厳しさを増している。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・地元大学や学協会など開催地での主催者や事務局となる人材・団体との連携体制づくりや誘致活動のサポートが必要である。

・他都市との差別化を図りつつ、主催者ニーズに沿った誘致やプロモーションを展開していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・教員数の多い琉球大学や沖縄科学技術大学院大学を中心に学内でMICEセミナーを開催し、MICEに関する取組への理解を求めるとともに、先生方の主催者ニーズを把握し、誘致活動へのサポートを行う。

様式1(主な取組)

活動指標名	設計・工事・開業準備に向けた取組				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		—	—	—	—	実施	—	66.7%	70,123	やや遅れ
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
MICE関連人材の育成や、MICEの誘致戦略を盛り込んだ「沖縄MICE振興戦略(案)」を策定し、経済界・産業界、大学等研究機関、学会・協会等の各種団体、行政関係団体の連携体制を構築し、戦略的なMICE振興を図る。						MICE関連人材の育成や、MICEの誘致戦略を盛り込んだ「沖縄MICE振興戦略」を策定し、経済界・産業界、大学等研究機関、学会・協会等の各種団体、行政関係団体の連携体制を構築した。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・国は、大型MICE施設の基本設計に係る沖縄振興特別推進交付金の交付決定には「根拠ある需要収支見込み」と「周辺受入環境整備の見通し」が整理されていることが必要としている。

○外部環境の変化

・震災復興事業やオリンピック需要等による建設需要の高まり、消費税増税による建設コストの増が予測される。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・国が課題とする「根拠ある需要収支見込み」と「周辺受入環境整備の見通し」について、引き続き、丁寧に説明を重ねる必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・国内外のMICE主催者、MICE関連事業者及び投資開発事業者等並びに国内の他の同規模施設等の調査協力を得ながら、引き続き、国の課題に応える資料の作成と説明に努める。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備	
			施策の小項目名	○MICE施設の機能強化	
主な取組	大型MICE施設周辺の受入環境の整備			実施計画記載頁	191
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
大型MICE施設の整備にあたり、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地に取り組む。		29	30	31	32	33
		マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施				
実施主体	県、事業者					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)			
予算事業名	大型MICE受入環境整備事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度:交通量需要予測調査等及び下水道事業計画変更等業務を実施した。	
県単等	委託	—	—	41,551	7,040,437	70,123	356,165	一括交付金(ソフト)	○H30年度:大型MICE施設の基本設計を実施する。	
予算事業名	観光地形成促進地域推進事業(大型MICE受入環境整備検討業務)						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度:—	
		—	—	—	—	—	6,200	県単等	○H30年度:大型MICE受入環境整備検討業務を実施する。	

様式1(主な取組)

活動指標名	マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—	100.0%	70,123	順調	大型MICEエリア振興に関する協議会等において、大型MICE受入環境整備に向けた港湾計画、都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と情報共有、課題整理等を行なった。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案							反映状況			
①MICEエリア周辺に計画的に宿泊施設や商業施設が誘致できるよう、港湾計画、都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と連携を図る。							①大型MICEエリア振興に関する協議会等において、大型MICE受入環境整備に向けた港湾計画、都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と情報共有、課題整理等を行なった。			



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・関係機関や地元自治体等の地域と一体となり、MICE周辺エリアでの宿泊施設、商業施設の立地を促進させる必要がある。

○外部環境の変化

・MICEの開催ニーズは年々多種多様化してきており、今後も変化を続けていくものと見込まれるが、主催者や参加者の観点から、MICE施設への移動利便性向上や周辺受入環境整備については、今後も変わらず求められる。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・大型MICE施設の安定的な運営(稼働率の向上)推進においては、MICEエリアとして利便性及び機能性の向上を図ることを目的として、交通アクセスの改善、宿泊施設・商業施設の誘致を図る必要があり、これらについて、引き続き、大型MICE施設の受入環境整備に係る協働体制の中で協議を重ねていく。

4 取組の改善案(Action)

・「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、関係各班長を構成員とする「作業部会」において、まちづくり、交通対策、観光振興の3つのテーマで協議することとしており、情報共有を図りつつ各課題について集中的に取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備	
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化	
主な取組	観光地形成促進地域制度の活用促進			実施計画記載頁	191
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
高い国際競争力を有する魅力ある観光地の形成を図るため、沖縄振興特別措置法に基づいた観光地形成促進地域制度を活用し、国内外からの観光旅客に対応した観光関連施設の整備を促進する。						
実施主体		県内外の投資会社への誘致活動、税制等の活用促進				
担当部課【連絡先】		文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名 観光地形成促進地域推進事業							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	4,243	4,995	5,255	2,457	2,447	7,530	県単等	○H29年度: 観光地形成促進地域制度を含めた「沖縄特区・地域税制活用ワンストップ窓口」を活用し、経済団体や個別企業等へのきめ細かな周知活動を行った。 ○H30年度: ワンストップ窓口の活用や個別企業等への周知活動を強化する他、キーパーソン招聘事業等を実施し誘致を具体化させていく。
予算事業名 —							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	県内外の投資会社への誘致活動、税制等の活用促進				H29年度			H29年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	実施	—	100.0%	2,447	順調	<p>活動概要</p> <p>県内外の投資会社への誘致活動は、平成28年度より企業個別訪問を強化し、累計で90件を超える面談を実施した。</p> <p>税制等の活用促進については、税制活用セミナー(参加者:167名)での周知、県内全域の370施設の宿泊施設等を対象としたパンフレット配布、ワンストップ窓口との連携強化を図った。</p> <p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>平成24年度に「観光地形成促進地域制度」が創設されて以降、同制度を活用しての地方税の減免実績が増加傾向にあるが、国税(投資税額控除)の適用実績が平成28年度まで0件となっていた。</p> <p>しかし、平成29年度に初めて2件程度の適用実績が見込まれるなど、活用促進の取組による効果が現れつつある。</p>
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・観光関連事業者等への十分な周知を図るため、パンフレット配布や対象事業者の掘り起こしなどを効果的かつ継続的に行う必要がある。

○外部環境の変化

・沖縄観光が堅調に推移することなどを見込んだ民間宿泊施設投資の動きが活発である。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・観光地形成促進地域制度を含めた「沖縄特区・地域税制」について、平成29年度からワンストップ相談窓口を設置し情報集約化に努めたところ、税制適用の可能性が高い相談がある(相談件数:43件(平成30年3月末時点))など周知活動の効果が現れてきているため、引き続き周知活動の強化を図る必要がある。

・好調な民間宿泊施設投資、那覇空港第二滑走路やクルーズ船バース等のインフラ整備による受入機能増強と並行し、「観光地形成促進地域制度」を活用した魅力ある観光関連施設の創出を促すことで、魅力ある観光リゾート地としての国際競争力を高めていく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・「沖縄特区・地域税制ワンストップ相談窓口」との連携や個別企業等への周知活動強化を図りつつ、県内外の投資会社等へのキーパーソン招聘事業等を実施することで、観光関連施設等の誘致や税制活用をより具体化させていく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備	
			施策の小項目名	○MICE施設の機能強化	
主な取組	沖縄コンベンションセンター管理運営事業			実施計画記載頁	191
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
国際・国内コミュニケーションの場としてのコンベンションを誘致・推進し、本県の産業経済及び教育文化の振興に寄与するため、沖縄コンベンションセンターの管理・運営を行う。						
実施主体		MICE誘致に向けた適切な施設の管理・運営・機能強化				
県						
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)			
予算事業名 沖縄コンベンションセンター管理運営事業							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: 国内外の優れたMICEの誘致と、安心・安全な施設の利用環境を維持するため、指定管理制度を活用し適切な管理運営を行った。 ○H30年度: 沖縄コンベンションセンターを指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。	
県単等	委託	67,812	67,946	65,691	65,691	65,691	65,691	県単等		
予算事業名 沖縄コンベンションセンター保全修繕事業費							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: 沖縄コンベンションセンターの施設の安全性、機能性の確保の為、修繕等を行う。経年劣化している受水槽や、空調設備の更新を行っている。 ○H30年度: 沖縄コンベンションセンターの安全性、機能性を確保するために、修繕計画に沿った修繕等を行う。建具や照明器具の取替、天井の耐震化設計を行う。	
県単等	直接実施	35,553	39,625	40,524	416,497	354,411	240,338	県単等		

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE誘致に向けた適切な施設の管理・運営・機能強化				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	実施	—	100.0%	420,102	順調	国内外の優れたMICEの誘致と、安心・安全な施設の利用環境を維持するため、指定管理制度を活用し適切な管理・運営を行った。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠と取組の効果
活動指標名	—				H29年度			沖縄コンベンションセンターを指定管理制度により適正な管理・運営を行った結果、国内外の会議等を 427件開催、計579,340の方が本施設を利用した。(平成28年度実績;催事件数442件、施設利用者数516,137人)		
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
<p>①平成28年度に引き続き、沖縄コンベンションセンターの修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。</p> <p>②平成28年度に引き続き、中長期(3～5年)のMICE計画がある催事を誘致していく。</p>						<p>①平成29年度は、修繕計画に基づき、受水槽の更新工事、会議B棟・劇場棟の空調設備の更新工事を行っている。</p> <p>②指定管理期間を5年としたことで、指定管理者において引き続き誘致活動を行ったことから、中長期的なMICE誘致を積極的に進めることができた。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

- ・建物が築30年が経過し、施設の老朽化が激しくなっている状況にあり、急な破損により建物使用不可になることは、MICE誘致等の活動にも影響がでてくる恐れがある。
- ・MICE誘致を促進するためには、指定管理者の営業力・対応力を強化する必要がある。

○外部環境の変化

- ・入域観光客数の増加、航空路線の増大などの影響により、MICE参加者は増えている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・安全かつ快適で、魅力あるコンベンション施設としての機能維持を図り、MICE誘致等の活動を円滑に進めるため、施設の老朽化の状況を把握し、計画的な修繕を行う必要がある。
- ・国際会議や大規模なMICEは、企画段階から実施まで、2、3年の期間を要することが多い。また、会場が決定した後は、準備から終了まで主催者と綿密な調整・連絡が必要となる。よって、MICEの誘致においては、主催者と初期接触からイベント終了まで、一括して対応できる態勢を整えることが重要である。

4 取組の改善案(Action)

- ・平成29年度に引き続き、沖縄コンベンションセンターの修繕計画に基づいた計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。
- ・平成29年度に引き続き、県、OCVB、指定管理者が一体となってMICEを誘致していく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備	
			施策の小項目名	○MICE施設の機能強化	
主な取組	万国津梁館管理運営事業			実施計画記載頁	192
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
万国津梁館を指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。						
実施主体	県	MICE誘致に向けた適正な施設の管理・運営・機能強化				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)			
予算事業名 万国津梁館管理運営事業							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: 国内外の優れたMICEの誘致と、安心・安全な施設の利用環境を維持するため、指定管理制度を活用し適切な管理・運営を行っている。	
県単等	委託	78,338	80,576	65,633	65,633	65,633	65,633	県単等	○H30年度: 万国津梁館を指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。	
予算事業名 万国津梁館事業費							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: 万国津梁館の機能性確保の為、サミットホール空調設備や防犯カメラ更新を行っている。また、立地する部瀬名岬の供用道路等の管理を行っている。	
県単等	直接実施	47,928	44,017	44,159	65,605	72,789	86,753	県単等	○H30年度: 万国津梁館の安全性や機能性確保の為、機器更新計画に基づき、オーシャンホール空調設備の更新や、地盤状況調査、部瀬名岬の供用部等の管理を行う。	

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE誘致に向けた適正な施設の管理・運営・機能強化				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		—	—	—	—	実施	—	100.0%	138,422	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
<p>①28年度に引き続き、万国津梁館の修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。</p> <p>②28年度に引き続き、中長期(3～5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。</p>						<p>①29年度は、修繕計画に基づき、空調機器・防犯カメラ等の修繕を行った。</p> <p>②指定管理期間を5年としたことで、指定管理者において引き続き誘致活動を行ったことから、中長期的なMICE誘致を積極的に進めることができた。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

- ・建築から16年が経過し、施設等の老朽化が進んでいる状況にあり、MICE等の誘致活動に支障が出る可能性がある。
- ・MICE誘致を促進するためには、指定管理者の営業力・対応力を強化する必要がある。

○外部環境の変化

- ・インセンティブ系催事で使われることが増え、参加者数などが増えている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・安全かつ快適で、魅力あるコンベンション施設としての機能維持を図り、MICE誘致等の活動を円滑に進めるために、施設の老朽化の状況を把握し、計画的な修繕を行う必要がある。
- ・国際会議や大型MICEは、企画段階から実施まで、2～3年の期間を要することが多い。また、会場が決定した後は、準備から終了まで、主催者と綿密な調整・連携が必要となる。よって、MICEの誘致においては、主催者と初期接触からイベント終了まで、一括して対応できる体制を整えることが重要である。

4 取組の改善案(Action)

- ・29年度に引き続き、万国津梁館の修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。
- ・29年度に引き続き、県、OCVB、指定管理者が一体となってMICEを誘致する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備	
			施策の小項目名	○MICE施設の機能強化	
主な取組	MICE施設の機能強化に向けた交通体系の確立			実施計画記載頁	192
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
大型MICE施設の整備にあたり、施設利用者の交通利便性確保に向けて情報共有を行なうなど、関係部局及び地元自治体と連携して取り組む。						
実施主体		ハシゴ道路をはじめとする幹線道路ネットワーク整備 利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組				
担当部課【連絡先】		県、市町村、国、交通事業者 文化観光スポーツ部 MICE推進課 【098-866-2077】				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
—	直接実施	—	—	—	—	—	—	—	○H29年度: 関係者間での情報共有を図るため、「大型MICEエリア振興に関する協議会」を1回開催した。 ○H30年度: 「大型MICEエリア振興に関する協議会」を開催する。
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	ハシゴ道路をはじめとする幹線道路ネットワーク整備、 利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値	—	—	—	—	実施	—	100.0%	0	順調	「大型MICEエリア振興に関する協議会」等において、大型MICE受入環境整備に向けた関係部局や地元自治体との情報共有等を行なった。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠と取組の効果
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・大型MICE施設の機能強化に向けて、関係機関と地元自治体等地域と一体となり、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保する必要がある。

○外部環境の変化

・MICEの開催ニーズは年々多種多様化してきており、今後も変化を続けていくものと見込まれるが、催事主催者や参加者の視点から、MICE施設への移動利便性向上については、今後も変わらず求められる。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・大型MICE施設の安定的な運営(稼働率の向上)推進においては、利用者の移動利便性向上を図ることを目的として、交通アクセスの改善について取り組む必要があり、引き続き、大型MICE施設の受入環境整備にかかる協働体制の中で協議を重ねていく。

4 取組の改善案(Action)

・「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、関係各班長を構成員とする「作業部会」において、まちづくり、交通対策、観光振興の3つのテーマで協議することとしており、情報共有を図りつつ各課題について集中的に取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備	
			施策の小項目名	○MICE誘致・受入の体制強化	
主な取組	沖縄MICEネットワークの運営・組織強化			実施計画記載頁	192
対応する主な課題	③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
全県的かつ産業横断的なMICE振興を図る観点から、大学、産業界、行政、各種団体が参画する沖縄MICEネットワークを設立し、部会、勉強会等を通して、県内事業者のスキルアップを図る。		設立				> 会員数130団体
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					
		部会・勉強会の開催、普及イベントの開催、主催者・誘致主体等への総合的支援等				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	—	17,320	17,731	一括交付金(ソフト)	○H29年度: H29年7月にNWを設立し、MICE勉強会やブランド部会の開催、県民普及ツールを作成・配付した。 ○H30年度: MICE勉強会、MICEの誘致・受入体制の整備に係る検討会等を開催する。
予算事業名	—						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄MICEネットワーク会員数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		—	—	—	—	150団体	—	100.0%	17,320	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
								<p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>経済団体や大学等への働きかけにより、当初想定を上回る150の団体が沖縄MICEネットワークに加入しており、「順調」である。</p>		
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・平成29年7月に設立したばかりであり、関連事業者への周知が十分でない。

○外部環境の変化

・観光業全体が量から質へという流れのなかで、MICEビジネスへの関心が高まりつつある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・現在は行政主導により運営しているが、将来的には自走する組織づくりが必要である。
- ・会員による事業提案や勉強会のテーマ設定などが積極的に行われるような仕組みが必要である。
- ・様々な業種の企業、団体にMICEを活用したビジネスに取り組んでもらえるような機運の醸成が必要である。

4 取組の改善案(Action)

- ・自走のための会費徴収の検討を行う。
- ・会員による事業提案や勉強会のテーマ設定等会員ニーズを反映させた組織運営を行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備	
			施策の小項目名	○MICE誘致・受入の体制強化	
主な取組	地域・住民のMICE参加の促進			実施計画記載頁	192
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
MICE振興の意義や地域にもたらすメリットについて住民理解を促す普及啓発活動を行うとともに、MICEによる社会的効果を創出するため、県民向け公開講座や地域・NPO等と連携した関連イベントの開催を主催者に働きかけ、住民によるMICE参加の機会提供に努める。						
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					
		MICE普及イベントの開催やMICE主催者による県民向けイベントの開催促進				



2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)			
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
戦略的MICE誘致促進事業										
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	—	17,320	17,731	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 県民向けシンポジウムの開催や企業への出前講座を開催するとともに、主催者へ県民イベントの開催の働きかけを行った。 ○H30年度: 県民向けシンポジウムや企業への出前講座等を開催するとともに、主催者へ県民イベントの開催の働きかけを行う。	
予算事業名										
—										
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
									○H29年度:	
									○H30年度:	

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE普及イベントの開催やMICE主催者による県民向けイベントの開催促進				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	実施	—	100.0%	17,320	順調	<p>活動概要</p> <p>沖縄MICEネットワーク設立記念シンポジウムやMICEブランド発表会の開催、企業への出前講座の実施、主催者に県民向けイベントの開催の働きかけを行い、MICEに関する機運の醸成に取り組んだ。</p>
活動指標名					H29年度					
実績値										
活動指標名					H29年度					<p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>沖縄MICEネットワーク設立記念シンポジウムの参加者約300名、MICEブランド発表会の参加者約200名と多くの県民の参加があった。また、働きかけの結果、学会開催時に一般県民向けイベントが開催されており、「順調」である。</p>
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

- ・沖縄MICEネットワークの設立を契機に、県内事業者、団体等によるMICEビジネスへの関心は高まりを見せつつある。
- ・一方で、県民理解の面では、MICEが地域にもたらす意義、効果についての理解が十分得られていない。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・沖縄MICE振興戦略で目指す国際的なMICE都市を形成していく上で、地域・住民のMICEに対する理解と関心を高めることが必要である。
- ・MICEは会議施設が所在しない市町村においても、会議前後の観光等経済効果があることから、離島も含めた全県的なMICE振興に向けて市町村等と連携した取組を実施する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・企業、各種団体への説明会を引き続き実施していくとともに、県民向けのイベントにおけるMICEのPR、県民も対象としたシンポジウム等を開催する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備	
			施策の小項目名	○MICE誘致・受入の体制強化	
主な取組	MICE開催支援の充実			実施計画記載頁	192
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
MICE主催者等に対して開催経費の一部助成や空港等での開催歓迎支援を実施するほか、視察ツアーやMICE商談会を開催し、主催者、キーパーソン等を招聘し、沖縄のMICE開催環境をPRする。						
実施主体	県、OCVB	MICE歓迎イベント、シャトルバス借り上げ支援、開催経費の負担軽減等の実施				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	—	118,078	92,650	一括交付金(ソフト)	○H29年度: コンベンション主催者やインセンティブ主催者への助成、芸能団派遣等の開催歓迎支援等を実施した。 ○H30年度: コンベンション主催者やインセンティブ主催者への助成、芸能団派遣等の開催歓迎支援等を実施する。
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE歓迎イベント、シャトルバス借り上げ支援、開催経費の負担軽減等の実施				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	実施	—	100.0%	118,078	順調	学会やインセンティブ旅行の主催者に対して、開催経費の一部助成を行ったほか、ミス沖縄、芸能団派遣などにより、MICE参加者の満足度を高める各種サポートを実施した。
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

・国内外の他都市においても同様の支援メニューが設けられており、都市間の誘致競争は年々厳しさを増している。
・金融庁の通達により、国内保険会社の海外インセンティブ旅行の自粛の動きがある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・コンベンションや規模の大きなMICEの誘致につながるような制度設計となっているか、検証する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・沖縄での開催を印象付けるとともに、より開催満足度を高められるような支援メニューにするため、参加者アンケートを実施し、支援内容の改善に反映させる。
- ・主催者アンケートを実施し、支援メニューに対する評価や開催地に求めるニーズ、将来の開催意向等を把握し、支援内容の改善に反映させる。

様式1(主な取組)

活動指標名	ユニークベニュー、体験プログラム、MICE限定商品・サービスの開発促進				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要	
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
実績値	—	—	—	—	実施	—	100.0%	6,830	順調	MICEコンテンツの開発に取り組む地域(1地域)や新たなMICEビジネスの事業化に取り組む企業(1社)に対する支援を行った。	
活動指標名					H29年度					実績値	進捗状況の判定根拠と取組の効果
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
実績値											
活動指標名					H29年度			実績値	進捗状況の判定根拠と取組の効果		
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			石垣市では、観光協会やホテル事業者らが中心となって、MICE受入のための体制整備やコンテンツを開発した。MICEビジネスの支援については、MICE参加者向けに県産品の商品カタログを製作しており、本取組の効果としては「順調」である。	
実績値											
(2)これまでの改善案の反映状況											
平成29年度 of 取組改善案						反映状況					
—						—					



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

- ・沖縄MICEネットワークの設立を契機に、MICEに興味・関心を持つ企業は増えつつある。
- ・MICEの受入に積極的な地域はまだ少ない。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県内事業者を対象にしたアンケートによれば、MICEを活用したビジネスや地域活性化に関心は高いものの、具体的に何をすればよいかかわらず、MICE関連の情報が圧倒的に不足している状況にある。まずは、県内事業者や市町村を対象に、県外・海外の成功事例紹介やMICE関連セミナーを通じて、MICEについての理解度を高めていくことが求められる。

4 取組の改善案(Action)

・県内市町村、観光協会や企業等の様々な取組が促進されるよう、沖縄MICEネットワークにおける各種勉強会、普及啓発活動等を通じて、MICEビジネスやMICE受入に取り組む先進事例等を紹介する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICEを核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受け入れ態勢の整備		
			施策の小項目名	○MICE誘致・受入の体制強化		
主な取組	MICE限定制度の導入検討				実施計画記載頁	192
対応する主な課題	③展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。					

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
海外から展示販売等の商品を日本国内に持ち込む際の関税等の課税免除手続きの簡素化、MICE参加者の出入国手続きの迅速化に向けた新たな制度の導入可能性を検討する。						
		調査	制度検討、関係団体との調整			
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	アジア経済戦略課、MICE推進課 【098-866-2340】					

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名	展示会先進地等調査						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	0	0	0	0	21,120	4,192	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 展示会等の誘致活動や各種情報収集等と合わせて先進事例の調査を実施した。 ○H30年度: 先進地調査を実施予定する。
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	先進地事例調査の実施				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
						事例調査	事例調査	100.0%	21,120	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
※ H29年度に新たに追加した項目のため該当なし。						※ H29年度に新たに追加した項目のため該当なし。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・国際的な展示会・商談会を誘致・開催するには一定の施設規模を備えた展示場が必要であり、新たな制度は県が推進する大型MICE施設での活用を想定している。このため、当該取組については、今後の大型MICE施設の整備状況も踏まえつつ、供用開始のタイミングで創設できるよう取り組む必要がある。

○外部環境の変化

・国内の他の都市において、常設保税展示場の認定を受けた施設が2019年に開業予定であり、沖縄における展示会の振興に向けてはこうした都市との競争しうるような制度設計を行う必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・展示会主催者や参加者の利便性や負担軽減につながる効果的、実効的な制度について更なる調査検討が必要である。

4 取組の改善案(Action)

・国内外の展示会ビジネス先進事例について、関係者との意見交換を行い、魅力的な開催環境に向けた取組を検討する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	③ MICEに関わるプレイヤーの育成・確保	
			施策の小項目名	○MICEプレイヤーの育成・高度化	
主な取組	MICE専門人材の育成			実施計画記載頁	192
対応する主な課題	④県内にはMICE専門の事業者が少なく、民間事業者もMICE専門の人材が不足していることから、MICE主催者の多様なニーズに対応できる幅広い専門人材の育成・確保が課題である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
ホテル、PCO/PEO、DMC・旅行会社、交通・運輸業者、MICE施設事業者、その他多くの民間事業者がMICEプレイヤーとして活躍できるよう、各種セミナーや実践的な研修等により高度で専門的な人材の育成・確保に取り組む。		6回				
実施主体		県、OCVB				
担当部課【連絡先】		文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】				
		MICE専門人材育成の講座・セミナー開催				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	—	9,765	8,205	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 事業者ニーズの高い専門講座の開催等による営業力、提案力、実践力などのスキルアップを支援した。 ○H30年度: MICE事業者向けセミナーのほか、MICEネットワーク会員を対象とした勉強会を開催する。
予算事業名	—						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	講座・セミナー開催				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	24回	6回	100.0%	9,765	順調	活動概要 ホテル、PCO、旅行会社、観光協会、観光事業者、各種サプライヤー、MICE関連団体等を対象に、MICE案件の獲得からオペレーション業務に至るまでの各事業者に求められるノウハウを習得するためのセミナーを県内6圏域計24回開催した。
活動指標名	—				H29年度					
実績値										
活動指標名	—				H29年度					
実績値										進捗状況の判定根拠と取組の効果 MICE専門人材育成のための講座を県内6圏域計24回開催し、ホテル、PCO、旅行会社、観光協会、観光事業者、各種サプライヤー、MICE関連団体等延べ541名が参加した。沖縄MICEネットワークの会員を中心に、想定以上の受講があり、「順調」である。
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・MICEビジネスは産業の裾野が広く、M/I/C/Eの分野ごとにプレーヤーとなる事業者も異なることから、求められる人材も多種多様であり、効果的な人材育成を図るには、県だけでの取組に限界がある。

○外部環境の変化

・沖縄MICEネットワークの設立により、民間事業者によるMICEビジネスへのチャレンジ意識は高まりつつある。民間旅行会社の中には、独自にMICE人材の育成に取り組む企業も出てきている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・これまで座学が中心だったが、ロールプレイング等を含めたより実践的な内容を取り込む必要がある。

・OCVBが実施している人材育成研修や沖縄MICEネットワークによるMICE勉強会など行政による支援と、民間独自の取組との相乗効果により、MICE専門人材を多数育てていく仕組みを構築する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・M/I/C/Eごとにどのような人材が求められているか、沖縄MICEネットワークの会員等から調査し、ニーズの高い人材育成カリキュラムを検討する。

様式1(主な取組)

活動指標名	県民向け普及イベントの開催				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	2回	1回	100.0%	17,320	順調	<p>活動概要</p> <p>沖縄MICEネットワーク設立記念シンポジウムやMICEブランド発表会の開催、企業への出前講座の実施、主催者に県民向けイベントの開催の働きかけを行い、MICEに関する機運の醸成に取り組んだ。</p>
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										<p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>沖縄MICEネットワーク設立記念シンポジウムの参加者約300名、MICEブランド発表会の参加者約200名と多くの県民の参加があった。また、働きかけの結果、学会開催時に一般県民向けイベントが開催されており、「順調」である。</p>
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

- ・沖縄MICEネットワークの設立を契機に、県内事業者、団体等によるMICEビジネスへの関心は高まりを見せつつある。
- ・一方で、県民理解の面では、MICEが地域にもたらす意義、効果についての理解が十分得られていない。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・沖縄MICE振興戦略で目指す国際的なMICE都市を形成していく上で、地域・住民のMICEに対する理解と関心を高めることが必要である。
- ・MICEは会議施設が所在しない市町村においても、会議前後の観光等経済効果があることから、離島も含めた全県的なMICE振興に向けて市町村等と連携した取組を実施する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・企業、各種団体への説明会を引き続き実施していくとともに、県民向けのイベントにおけるMICEのPR、県民も対象としたシンポジウム等を開催する。